

成人用肺炎球菌ワクチンを接種される方へ

監修 独立行政法人 国立病院機構東京病院 永井 英明先生

成人用肺炎球菌ワクチンには2つの種類(3つの ワクチン)があり、それぞれ下記の特徴があります。

莢膜多糖体型

肺炎球菌の表面にある物質(莢膜多糖体)をターゲットとしたワクチン

ニューモバックス® NP¹⁾ 23価肺炎球菌 莢膜ポリサッカライドワクチン

(肺炎球菌莢膜ポリサッカライド)

23種類の血清型を含む

定期接種 65歳の者*¹⁾

任意接種 2歳以上で肺炎球菌による重篤疾患に罹患する危険が高い個人及び患者*^{2), *3)}

結合型

肺炎球菌の表面にある物質(莢膜多糖体)とワクチンの免疫原性を高めるために利用されるタンパク質(キャリアタンパク)を結合させたワクチン

PCV 13²⁾ 沈降13価肺炎球菌 結合型 ワクチン

(無毒性変異ジフテリア毒素結合体)

13種類の血清型を含む

任意接種 高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる者*⁴⁾
肺炎球菌による感染症の予防

バクニューバンス®³⁾ 沈降15価肺炎球菌 結合型ワクチン

(無毒性変異ジフテリア毒素結合体)

PCV13に含まれる血清型に加えて、2種類の血清型を含む

任意接種 高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる者*⁴⁾
肺炎球菌による感染症の予防

*1: 60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方も対象

*2: ○脾摘患者における肺炎球菌による感染症の発症予防 ○肺炎球菌による感染症の予防 1) 鎌状赤血球疾患、あるいはその他の原因で脾機能不全である患者 2) 心・呼吸器の慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病、慢性髄液漏等の基礎疾患のある患者 3) 高齢者 4) 免疫抑制作用を有する治療が予定されている者で治療開始まで少なくとも14日以上余裕のある患者。

*3: 「2歳以上の脾摘患者における肺炎球菌による感染症の発症予防」の目的で使用した場合、又はスチムリマブ(遺伝子組換え)若しくはベグセタコبران投与患者では保険給付での接種が可能。

*4: 慢性的な心疾患、肺疾患、肝疾患又は腎疾患 糖尿病 基礎疾患若しくは治療により免疫不全状態である又はその状態が疑われる者 先天的又は後天的無脾症(無脾症候群、脾臓摘出術を受けた者等) 鎌状赤血球症又はその他の異常ヘモグロビン症 人工内耳の装用、慢性髄液漏等の解剖学的要因により生体防御機能が低下した者 上記以外で医師が本剤の接種を必要と認めた者

1)ニューモバックス®NPシリンジ電子添文2023年8月改訂(第3版) 2)プレバナー-13®水性懸濁注電子添文2021年9月改訂(第3版) 3)バクニューバンス®水性懸濁注シリンジ電子添文2024年2月改訂(第4版)

定期接種と任意接種について

定期接種 予防接種法に基づいて市区町村が主体となって実施され、公費での助成*を受けることができます。

任意接種 予防接種法に基づかないワクチン接種となり、自己負担での接種となります。(一部市町村の補助あり)

*: 助成内容の詳細については、お住まいの市区町村にご確認ください。

血清型について

肺炎球菌の血清型は100種類以上が存在しています。肺炎球菌ワクチンは、その血清型のうち、感染症を引き起こしやすい23種・15種・13種の血清型に対応しています。

肺炎球菌ワクチン接種後に、 下記のような症状が現れることがあります。

- 接種部位の赤み、腫れ、熱、痛み。
一般的に、上記のような症状は3~4日で治まります。
- 接種部位を中心に上腕全体、あるいは腕全体にまで及ぶ赤み、腫れ、熱、痛みなどの症状。
接種から2~3日後をピークにみられることがあります。

その他、熱っぽい、だるいなど体調の変化があった場合には、医師にご相談ください

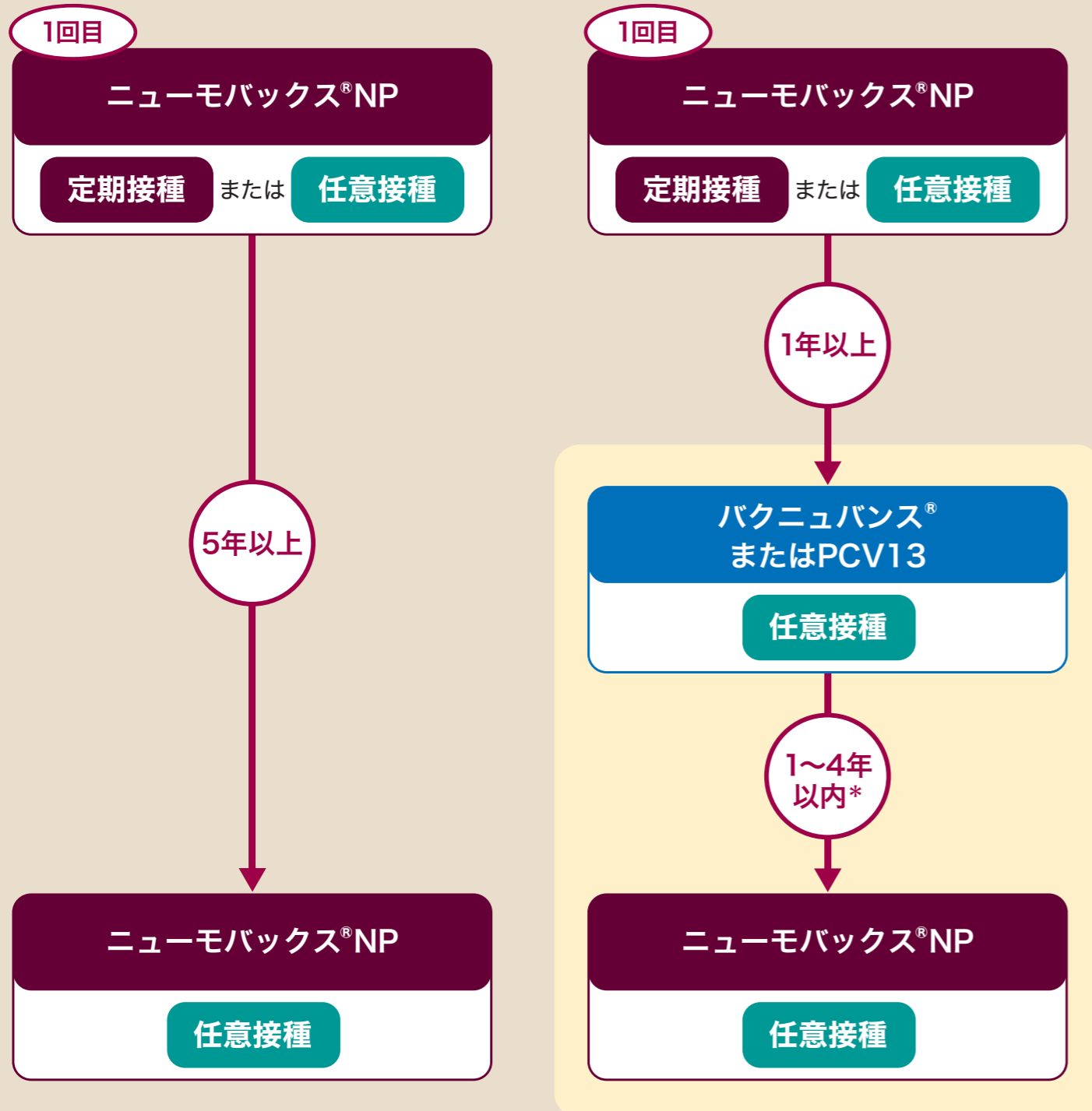


肺炎球菌ワクチンは、すべての肺炎を防ぐものではありません。うがい、手洗い、マスクなど、日常生活での感染予防にもご留意ください。

ニューモバックス®NPを接種された方へ

65歳以上の方の肺炎球菌ワクチン接種について

過去に、ニューモバックス®NPを接種した方が追加で肺炎球菌ワクチンを接種する場合、下記2つ方法があります。



*: ニューモバックス®NPの接種間隔は5年以上

肺炎球菌感染症にかかるリスクが高い方

免疫機能が低下している方

バクニュバンス®またはPCV13と、ニューモバックス®NPの連続接種が推奨されています。

- がん
- 自己免疫疾患(リウマチ含む)
- 脾摘患者
- 血液幹細胞移植者
- 慢性腎疾患・透析
- ・・・など

基礎疾患や個別の因子を有する方

バクニュバンス®またはPCV13と、ニューモバックス®NPの連続接種を検討することが望ましいとされています。

- 慢性心疾患
- 糖尿病
- 慢性肺疾患
- 慢性肝疾患
- アルコール多飲者
- ・・・など

日本呼吸器学会・感染症学会・結核学術部会ワクチンWG/日本感染症学会ワクチン委員会/日本ワクチン学会・合同委員会
65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方(第5版2024年4月1日)より作成